

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日：令和 6年 3月 20日

公表：令和 6年 3月 31日

事業所名 重症児デインEST

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	31		必要に応じて活動室を分けたり、十分なスペースがとれるようウッドデッキにバギーを置くなどして活動スペースの確保をしています。	
	2 職員の配置数は適切である	31		その日の利用児様の人数、状況に合わせて配置されています。 配置基準を満たしておりできる限り1対1で支援できるようにしています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	31		入口、玄関、お風呂も全てバリアフリーになっていて車いすやバギーでも動きやすい空間になっています。 目の届く場所で安全に過ごせるよう配慮されています。	障がい特性に応じた利用環境作りを毎回工夫しています。 機械浴が導入され、以前よりますますバリアフリー化しました。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	31		日々の清掃と環境整備を1日の最初と最後に行い、利用児様に適したセッティングを行っています。 日頃から衛生管理を行っており、心地よく過ごせる環境にしています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	31		毎日運営会議を行い情報共有し、定期的に個別支援計画の振り返りも全体で行っています。 各職種ごとの話し合いの機会を設け、目標設定と振り返りを行っています。	参加できなかったスタッフは議事録を用いて、情報共有に努めています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	31		保護者様からのご意見があれば、都度運営会議で共有やノート記入を行い改善につなげています。 年に1度保護者様にも評価をしていただいています。	毎年、自己評価の実施、意向等を把握し業務改善に努めています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	31		評価表の結果をスタッフみんなで共有するとともに、適宜支援の質を高められるよう努めています。 評価表は事業所のホームページで公表されています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	17	外部評価としてはないが、他施設の方から意見があれば共有、改善している。	必要であれば、第三者による外部評価を導入し業務改善を図ります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	31		年間計画を作成し研修を行っており、外部研修や個々の利用児の研修を担当スタッフが主となり行っています。 利用児の理解を深めるため、研修の担当が組まれています。 動画研修を毎月行い、法定研修は全職員同じ内容の勉強ができています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	30	1	保護者様との面談を年3回行われており、ニーズを把握し支援計画が作成されています。 多くの職員で話し合い、計画を作成しています。	児発管が保護者様と面談した内容を運営会議で報告し、その場で意見交換ができるよう努めています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	27	4	一人一人の一日の流れを誰でもわかるように記し、観察項目等忘れないよう通所記録にもチェック項目をつくっています。	利用児様の個性が高く標準化されたものの使用は難しいです。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	31		個別面談からスタッフ全員で支援計画の見直しを行っています。担当者会議で具体的な支援内容を設定しているかと思えます。具体的な内容で記載されており、誰が見ても伝わりやすい内容になっています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	30		担当者会議で支援内容を周知することで計画に沿った支援が行われています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	31		保育士中心に立案を行っており、日々のスタッフが主体となって行えるよう情報共有している。イベントは職種関係なく行います。	今後も情報収集を怠らず、新しい活動を考案していきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	31		季節に応じたプログラムを計画されています。 季節を取り入れながら色々な経験ができるように工夫されています。	内容が固定しないよう気を付けていますが、スタッフ間で積極的に話し合えるよう努めています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	31		1人1人に合わせた活動を提案し、柔軟な対応を心掛け、各々が過ごしやすい空間を提案しています。 個々に合わせて歌やふれあい遊び、製作など行っています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	30	1	適切な人数、内容を相談し、安全に配慮できています。 業務ボードを活用し、支援内容、役割分担が一目で分かるようにしています。	出勤時間がバラバラなため運営会議やノートを活用し、共通の意識が持てるよう努めています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	23	8	気づいた点はスタッフが使用している利用児様のノートに記録を残し共有しています。	退勤時間がバラバラなため支援終了後に行うことは難しいが、利用児の個別ノートに主要な連絡を記入しています。

関係機関や保護者との連携	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	31		通所記録や個別のノートを用いて、運営会議で情報共有をしています。利用時は必ず通所記録とノートの記載を徹底し、支援内容の検証が行えるよう努めています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	31		年3回保護者様と面談を行い、スタッフ間で支援計画についての情報共有や検討が行われています。 定期的に面談・担当者会議を行い見直しを行っています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	30		代表、児発管が参加しています。 スタッフも必要に応じて参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	28	2	相談員さん、訪問看護さん等と連絡を取り合い、情報共有しています。	市役所、機関など、必要に応じて連絡を取り利用児様の状況把握や情報共有に努めています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	30		市役所や相談員、病院、訪問など、必要に応じて連絡を取り利用児の状況把握を行っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	31		年1回医師へ看護指示書の記載依頼をしています。月2回程嘱託医の往診を依頼しています。 看護指示書を活用しています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13	17	必要に応じて情報共有を行っています。	必要時は、他事業所との情報共有に努めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	21	8	就学に向けて情報共有をしています。	次年度、小学部上がる利用児が多い為必要時は情報共有に努めます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	26	2	利用児様が併用している施設とのやり取りや相談員の方が様子を見に来てくださることで情報共有を行っています。	必要時は連携し助言がいただけるよう努めます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17	12	社会福祉協議会と連携して畑を進め、野菜の収穫に地域の保育園児に来ていただき、交流できました。	現在、交流する機会が少ない為、積極的に地域の行事に参加し子どもたちの交流も検討していきます。
保護者への説明責任等	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	23	6	地域の公民館祭りに、事業所を紹介する写真やパンフレットを置き参加することができました。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	31		日々の通所記録と、LINEでの連絡、送迎時などの情報共有、定期的な面談にて、コミュニケーションを図っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10	20	保護者様の利用児様への思いや支援の必要性、要望がどの程度あるかなどを理解したうえで家族支援ができるようその都度適切に対応しています。	家族支援プログラムに対しての研修を行うことができていませんが必要に応じて研修の実施を検討していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	30		契約時、変更時などに行っている。契約時に行います。随時口頭、書面にて説明を行い、いつでも確認していただけるようにしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	31		面談時や状況の変化により担当者会議を行い支援計画の修正を行っています。 支援計画は説明を行い保護者様からの同意のサインを頂いています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	31		送迎時に話を聞いたりSNSや通所記録などでその都度相談に応じるように心がけています。保護者様からの相談は、他スタッフとも相談し適切に対応できるよう努めています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	27	4	保護者様参加のイベントを開催したり、保護者様用のグループラインを作成し交流の場となっています。	今後、継続的に保護者参加のイベントや保護者会を継続的に実施できるよう検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	31		電話、SNS、通所記録に相談があった際は、スタッフや代表や管理者にも報告し対応しています。相談、申し入れは早期に対応できるよう努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	31		紙面だけでなくLINEなどでも子ども達の様子を知らせたりしています。 月1回の会報にて活動の様子や活動予定等を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	31		大切な書類は事務所で保管します。 入職時その他随時個人情報の取り扱いについて説明し、意識を怠らない様になっています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	31		利用児様に応じた声掛けをし、利用児様の出すサインで分かりにくいことや気になる点は、保護者に確認しています。 利用児様の反応をみながら支援を行うよう努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	27	4	新しい事業所をオープンした際に内覧会を地域住民にも告知し、多くの方が来所してくれました。 法人として社会福祉協議会の方と繋がりをもち、地域の方々や畑を作ることができました。	今後も地域との繋がりを持てるよう積極的に参加していきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	29	2	緊急時、感染症対応マニュアルは作成し、定期的に確認、変更を行っています。 運営会議で読み合わせを行っています。 委員会を設置し、委員会を中心に訓練を計画し周知しています。	防犯マニュアルは作成できておらず、今後作成していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	25	4	年2回計画しています。 毎月、必要物品の内容や期限等の確認と、毎年3月と9月の2回避難訓練を行っています。	災害時に備え、玄関に災害バッグを設置し利用児様に必要な医療ケア用品や薬など2日分、施設で保管させていただきます。

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	31	面談時の聞き取りと、不定期や単発的に服用する内服や予防接種は、通所記録で伝えてもらうようにしています。 非常時に備え、内服薬はお預かりしています。ご家族様より定期的に聞き取り薬剤情報の提出をお願いし、状況の把握、更新をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	31	アレルギーは事前に把握しています。医師の指示書、家族からの聞き取りに基づき、食べ物以外のアレルギー全般把握に努め対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	31	記載したヒヤリハットを定期的運営会議時に読み合わせし、情報共有をしています。些細な事例でもヒヤリハットを提出してもらい、全スタッフで注意を促しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	31	定期的に研修を行ったり、虐待防止マニュアルに沿って対応しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	29	2 現在は職員の見守りや対策案の実施で身体拘束は行わずに対応できています。 拘現在、束を行う児はいませんが、やむを得ず必要な場合には、保護者への説明、理解を得るようにしています。	やむを得ず、拘束が必要な場合には、利用児童、保護者様に事前に十分な説明を行い、支援計画に取り入れた上で適切に対応していきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。